

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	その他
	事務事業	敬老事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	敬老の日前後に、75歳以上の方に対し、長寿をお祝いする催しを各地区で開催する。100歳及び市内最高齢の方へ祝品を、88歳の方には祝品と市長直筆のメッセージカードを贈呈する。		
3年度概要	88歳、100歳及び男女最高齢者へ祝品を贈呈する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	


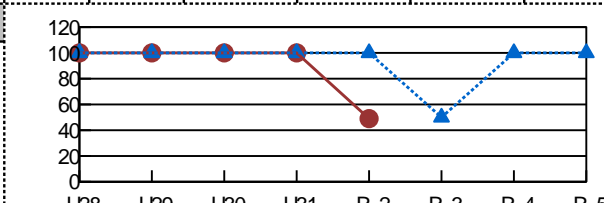
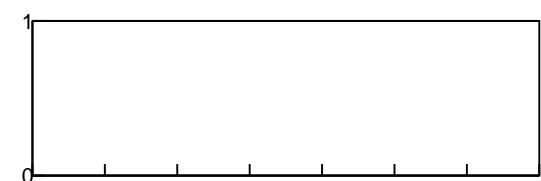
【事業の目的】

対象(何を)	75歳以上の高齢者等
意図(どのような状態にしたいか)	敬老祝品を贈呈することにより、高齢者の長寿と健康を祝うとともに、高齢者に対する敬意の意を表す。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
敬老祝品贈呈件数	件	130	125	2,414	2,570	106
敬老祝金支給件数	件	2,187	2,441	0	0	

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
敬老事業参加率	%	目標値	100	100	100	50	100
		実績値	100	100	49		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症の影響により、概ね敬老会を記念品のみ配布にする地区が多かった。式典を開催した地区は無く、目標を達成できなかった。 		(目標達成度)					(達成度) 49.0% 17点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[千円]	53,745	58,912	16,426	18,366
(事業費)	[千円]	46,183	51,324	8,944	10,884
(職員人件費)	[千円]	7,562	7,588	7,482	7,482

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

令和 2年度より 88歳、99歳の方への敬老祝金を廃止し、88歳の方に祝品と市長のメッセージカードを贈呈した。また、各地区での実施の敬老会は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、ほとんどの地区で記念品配布のみとすることとなった。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

高齢者の増加に伴う事業費の増加及び平均寿命の延長に対し、随時事業の見直しを検討する。

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者福祉通信機器貸与等事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	福祉電話を一人暮らし高齢者等に貸与し、日常生活の不安の解消を図るとともに、緊急時に押しボタンにより異常事態を関係機関へ通報できる緊急通報装置を貸与する。なお、緊急通報装置については、平成 27 年度から 29 年度までに「あんしん通報サービス事業」へ移行した。福祉電話に関しては令和 3 年度をもって事業廃止となる。		
3年度概要	高齢者福祉電話の貸与		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	65歳以上の一人暮らし高齢者等
意図(どのような状態にしたいか)	一人暮らし高齢者等の孤独感の解消を図るとともに、急病、災害その他緊急時に迅速かつ適切な対応を図ることができる。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
高齢者福祉通信機器貸与件数	件	93	62	53	0	

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標	高齢者福祉通信機器貸与率	%	目標値	1.4	1.4	0.6	0	
	実績値	1	0.7	0.6				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度) 100.0% 35点
	福祉電話事業については、平成 30 年度より新規の受付を廃止している。令和 3 年度をもって事業廃止が決定している。							
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	5,928	5,428	5,044	5,112
(事業費)	[円]	2,147	1,634	1,303	1,371
(職員人件費)	[円]	3,781	3,794	3,741	3,741

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	廃止
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

本事業の利用者は減少する中、令和 4 年度からの廃止に向けた周知文の送付を行い、広報に努めた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

高齢者福祉電話事業については、他の取組との関係を整理する中で、平成 30 年度から新規受付を中止する見直しを行い事業を縮小した。また、事務事業見直しにより令和 3 年度をもって廃止と決定したため、今後利用者に処理方法を含めた周知を行う。

令和 3年度（ 2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	在宅高齢者家族支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	在宅で高齢者を介護している方に、各種サービス（老人短期入所事業・介護見舞金支給事業）の提供をし、高齢者の住み慣れた在宅での生活を支援する。		
3年度概要	在宅で高齢者を介護している方に、各種サービス（老人短期入所事業・介護見舞金支給事業）の提供をし、高齢者の住み慣れた在宅での生活を支援する。また、在宅要介護高齢者の家族等が新型コロナウイルス感染症の感染により、介護ができなくなった場合の支援を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	介護保険要介護認定者
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者の保健衛生の向上と家族の介護の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
在宅寝たきり高齢者等介護見舞金支給人数	人	656	686	673	672	977

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標	在宅認定者率（要介護4、5）	%	目標値	55	55	55	55	55
			実績値	52.8	54.6	54.5		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 介護者に対する日常生活の負担軽減を図り、在宅での生活を支援したため、目標を概ね達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 99.1% 34点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（決算）	令和 3年度（予算）
トータルコスト	[円]	54,890	55,910	55,686	56,014
（事業費）	[円]	39,766	40,734	40,722	41,050
（職員人件費）	[円]	15,124	15,176	14,964	14,964

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 老人短期入所事業、介護見舞金支給事業ともに要件を的確につかみ、適正な実施に努めた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 在宅寝たきり高齢者等介護見舞金については、他事業との関係も考慮し改善案を検討する必要がある。			

令和 3年度（ 2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	寝たきり高齢者等支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	寝たきり又は認知症等の高齢者に紙おむつを2か月ごとに対象者宅に配布するほか、一人暮らし高齢者等に火災警報器、自動消火器、電磁調理器を給付する。		
3年度概要	寝たきり又は認知症等の高齢者に紙おむつを2か月ごとに対象者宅に配布する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	寝たきり等の高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	日常生活上の不安を和らげ、在宅での生活を支援する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
紙おむつ給付延件数	件	19,644	20,414	21,127	22,091	20,177

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標	施策に対する満足度(市民満足度調査)	%	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	26.9	25.4	31.2		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 紙おむつ及び日常生活用具の給付により、在宅高齢者の日常生活を支援したため、目標を達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 124.8% 35点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	73,638	81,665	94,193	115,774
(事業費)	[円]	66,076	74,077	86,711	108,292
(職員人件費)	[円]	7,562	7,588	7,482	7,482

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
紙おむつ給付事業について、新たな実施方法について業者へのヒアリングを実施する等協議を重ねた。まだ方針が決定となっていない。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
紙おむつの給付についての現状調査や給付方法について検討し、高齢者や家族のニーズに合った方法を検討する。また、日常生活用具の給付は、申請件数は減少しており、令和 3年度から廃止する。			

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者と施設の交流事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	委託先の特別養護老人ホームにおいて調理された食事を、社会福祉協議会員や民生委員の協力を得て対象者の家庭に配食する。配食回数は1人当たり年間100食程度(週2回)。				
	3年度概要	委託先の特別養護老人ホームにおいて調理された食事を、社会福祉協議会員や民生委員の協力を得て対象者の家庭に配食する。配食回数は1人当たり年間100食程度(週2回)。 利用者負担金 400円 委託先 22施設			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)		

【事業の目的】

対象(何を)	65歳以上の一人暮らし高齢者等で食に関する支援が必要である人
意図(どのような状態にしたいか)	委託先の特別養護老人ホーム等の保有する給食機能を地域社会に開放することにより、高齢者に栄養のバランスのとれた食事を提供する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
高齢者と施設の交流事業延べ配食数	食	24,301	22,410	20,476	24,015	

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標	配食を受けた高齢者率	%	目標値	5.5	5.5	5.5	5.5	
			実績値	3.9	3.4	3.2		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) H30年度から利用者負担額が上がり、配食数が減少したため、目標を達成できなかった。 (目標達成度)						(達成度) 58.2%	20点
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	7,451	7,605	7,146	7,889
(事業費)	[円]	4,956	4,570	4,153	4,896
(職員人件費)	[円]	2,495	3,035	2,993	2,993

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) 延べ食数が減少傾向にある。平成30年度からの自己負担額の増額が一因と考えられるが、実施施設にヒアリングを行い、現況と課題の把握に努めた。この結果を踏まえた、本事業の在り方を検討した。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入) 現状を調査し、今後のあり方について検討していく必要がある。			

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者と地域の交流事業		事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者の孤独感の解消及び地域社会との交流を図るため、一人暮らし高齢者等に対し、月1回程度、地区のボランティアの協力により、コミュニティセンター等で行う食事を提供する。食事提供は、市社協に委託している。	
	3年度概要	一人暮らし高齢者が地区のコミュニティセンター等において月に1回程度、ボランティアの協力により食事をを行う。 利用者負担金 180円 実施地域数 30地域
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象(何を)	おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者等
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者の孤独感の解消及び地域社会との交流を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
高齢者と地域の交流事業食数	食	23,149	20,509	1,658	8,000	

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標	高齢者と地域の交流事業実施箇所	箇所	目標値	31	31	32	7	
			実績値	30	30	10		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症の影響により、休止する地区が多く、目標を達成できなかった。 (目標達成度)			(達成度) 31.3% 10点				
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[千円]	13,099	12,228	4,624	14,050
(事業費)	[千円]	10,074	9,193	1,631	11,057
(職員人件費)	[千円]	3,025	3,035	2,993	2,993

【評価】

評価ランク (A~D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) 新型コロナウイルス感染症についての状況や市の対応方針について情報提供を行いながら、防止策を行った上での地区毎の判断により実施、または休止となった。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入) 今後、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、引き続き感染防止策等の情報を提供しながら、本事業の在り方を再確認し改善案を検討する。			

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	軽度生活援助事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	在宅の一人暮らし高齢者等に対し、生活を支援する者を派遣し、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することを目的とする。事業は、公益社団法人高松市シルバー人材センターに委託して実施する。				
3年度概要	シルバー人材センターに委託し、65歳以上の一人暮らし高齢者の軽易な日常生活上の援助を行う。市は利用者の利用時間に基づいて、委託料として、委託先の高松市シルバー人材センターに支払う。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務		


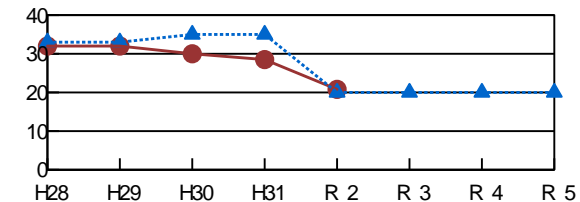
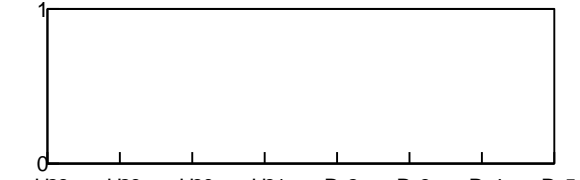
【事業の目的】

対象(何を)	65歳以上の一人暮らしの高齢者等
意図(どのような状態にしたいか)	自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
軽度生活援助事業登録受付件数	件	2,798	2,640	1,925	2,000	2,000

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
軽度生活援助利用率	%	目標値	35	35	20	20	20
		実績値	30	28.5	20.8		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 令和2年度から現況届を登録者に提出してもらったことにより、未利用の対象者を整理し、指標設定人数に変更があった。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少傾向にある。 	(目標達成度)						(達成度) 104.0% 35点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	27,992	27,374	24,709	25,195
(事業費)	[円]	24,967	24,339	21,716	22,202
(職員人件費)	[円]	3,025	3,035	2,993	2,993

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
自立した生活の継続を可能とするともに要介護状態への進行を予防している。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
高齢者が経験と知識を生かし、生きがいを持って就業できるため、シルバー人材センターに委託しているが、今後、総合事業への移行を促進する中で、サービス内容や利用料など、利用者の利便性や負担を考慮しながらの検討が必要である。			

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者福祉タクシー助成事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	外出することが難しい在宅の高齢者からの申請により、年度内有効のタクシー助成券を15枚(1枚当たり小型車の初乗り運賃相当)を交付することにより、外出支援を図ることを目的とする。		
3年度概要	外出が困難な高齢者の外出支援のためタクシー券を給付する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	外出することが難しい在宅で生活している高齢者で、要介護1～5の認定を受けている・本人及び配偶者の市民税が非課税である・一人暮らしまたは高齢者のみの世帯である等の要件を満たす者
意図(どのような状態にしたいか)	外出することが難しい、在宅で生活している高齢者の外出を支援する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的などのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
タクシー助成券交付者数	人	3,172	3,162	2,152	2,500	3,300

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	タクシー助成券利用率	%	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	46.6	46.4	42.1		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 制度利用の周知を図ることで、目標を概ね達成することができた。 (目標達成度)							(達成度) 84.2%
								29点
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	17,698	17,451	12,284	13,369
(事業費)	[円]	13,917	13,657	8,543	9,628
(職員人件費)	[円]	3,781	3,794	3,741	3,741

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出を控える傾向から利用率が低下した。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入) 引き続き、高齢者の外出支援、移動支援を公共交通の状況や、各地区の状況を踏まえ支援、検討をしていく。			

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	老人クラブ活動助成事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	老人クラブが行う活動事業を補助する。		
3年度概要	多年にわたり老人クラブ活動を積極的に推進したと認められ、高松市長感謝状贈呈該当者推薦基準を満たす者に対して、感謝状等を贈呈する。老人クラブ活動等事業運営要綱(高齢者地域福祉推進事業)に基づき、高松市内の単位老人クラブが行う活動事業費の一部や単位老人クラブを包括する高松市老人クラブ連合会事務局の運営費の一部を補助する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)

【事業の目的】

対象(何を)	市内居住60歳以上の高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者ができる限り自立し、生きがいをもち、安心して暮らせるようにする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
補助金交付件数(単位クラブ)	件	348	344	333	336	336

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標	老人クラブ会員数	人	目標値	21,000	21,000	21,000	15,674	15,674
			実績値	17,560	16,746	15,674		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	<p>(目標達成度)</p> <p>(達成度) 74.6%</p> <p>26点</p>						
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、クラブ活動を自粛、または解散したため、単位クラブ数、会員数は減少した。今後、地域の未加入高齢者に対して、老人クラブの活動内容を周知し、より一層、会員数の増加促進を行っていく必要がある。</p>							
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	36,094	35,538	29,919	34,261
(事業費)	[円]	33,825	33,262	27,674	32,016
(職員人件費)	[円]	2,269	2,276	2,245	2,245

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
新型コロナウイルス感染症の影響により、クラブ活動を縮小して行ったり、中止した。また単位クラブが解散したりなど、クラブ数、会員数にも影響が出たため、再度単位クラブの立ち上げを促すなど、働きかけが必要である。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
香川県老人クラブ連合会とも連携しながら、老人クラブの活性化に向けた支援に努める。			

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	シルバー人材センター運営補助事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市内に居住する60歳以上の正会員と学識経験者等の特別会員及び事業主体等の賛助会員の自主運営により、高齢者の就業機会を増大させ、生きがいづくりと社会活動への参加を促進する。			
3年度概要	市内に居住する60歳以上の正会員と学識経験者等の特別会員及び事業主体等の賛助会員の自主運営により、高齢者の就業機会を増大させ、生きがいづくりと社会活動への参加を促進する。			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	内部管理事務	

【事業の目的】

対象(何を)	市内に居住する60歳以上の高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者の就業機会を増大させ、生きがいづくりと社会活動への参加を促進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
補助金交付件数	件	1	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
シルバー人材センター会員数	人	目標値	1,860	1,860	1,860	1,630	1,640
		実績値	1,716	1,690	1,598		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 概ね達成できたが、退職者の働き方の多様化と新型コロナウイルス感染症の影響で会員数が減少傾向であるため、事業内容等の広報活動の支援等により、会員数の増加促進を行っていく必要がある。 シルバー人材センター会員数 実績1,598人(目標1,860人)	(目標達成度)						(達成度) 85.9% 30点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	19,329	19,336	19,117	19,117
(事業費)	[円]	17,060	17,060	16,872	16,872
(職員人件費)	[円]	2,269	2,276	2,245	2,245

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

シルバー人材センターについての事業内容を、より広く知ってもらえるよう広報活動を支援するが、新型コロナウイルス感染症の影響により、会員の作品展や写真、パネルによるシルバー事業の紹介を行うパネル展は中止となった。新型コロナの影響と高齢者の生きがいづくりや就労機会が多様化していることもあり、会員数の減少がみられる。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

引き続き、シルバー人材センターについての事業内容を、より広く知ってもらえるよう広報活動を支援する。また、実績報告等を精査し、補助金の適正執行に努める。

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者福祉施策推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施すると共に高齢者福祉サービスについて広く周知する。			
	第 8 期高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施すると共に高齢者福祉サービスについて広く周知する。			
3年度概要				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務	

【事業の目的】

対象(何を)	65歳以上の高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者が住み慣れた地域社会で、健康で生きがいを持って生活を送ることができるようにする

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
高齢者在宅福祉サービスリーフレット作成部数	部	13,000	13,000	14,000	10,000	10,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
		施策に対する満足度(市民満足度調査)	%	目標値	25	25	25	25
			実績値	26.9	25.4	31.2		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 高松市高齢者保健福祉計画に基づき、各種施策を実施するとともに高齢者福祉サービスについて広く周知し、目標を達成できた。 (目標達成度)							(達成度) 124.8%
								35点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[千円]	32,283	50,026	50,625	48,805
(事業費)	[千円]	20,940	23,468	19,201	24,863
(職員人件費)	[千円]	11,343	26,558	31,424	23,942

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
令和 3年度からの第 8 期保健福祉計画を策定した。また、民生委員等にガイドブックを配布し、各種施策の周知するとともに、高齢者福祉について協力をお願いしている。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
令和 3年度は、引き続き各種施策を実施し、高齢者福祉サービスについて広く周知する。また、市政出前ふれあいトークや高齢者のためのあんしんガイドブックの配布、高齢者の居場所づくり事業などの様々な機会を活用し、市民への周知も、継続して行う。			

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築	電話番号	087-839-2346	
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充	事業実施主体	市	
	事務事業	高齢者居場所づくり事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者が生きがいを持って地域で元気に暮らせる環境を整備するため、高齢者が地域で気軽に足を運べ、介護予防や健康づくりのほか、ボランティア活動の拠点となる居場所づくりを支援する。				
	3年度概要	介護予防や健康づくりを推進し、地域の多世代が交流する「地域に根ざしたコミュニティスペース」として機能するよう継続支援を行う。さらに、65歳からのプラチナ世代元気応援事業でのスマホ教室等を活用し、活動を支援する。また、新型コロナウイルス感染症防止策の情報提供を行い、状況に応じた対策を徹底するよう周知する。			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	3-	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	おおむね65歳以上の高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者等が気軽に集うことができる建物等のスペースを介護予防、健康増進、子どもたちを交えた世代間交流の場、地域のボランティア活動など様々な活動の拠点として整備することで、高齢者の介護予防や健康づくりを推進することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
居場所設置数	か所	241	238	219	300	300

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
主観的健康感の維持向上率	%	目標値	93	94	95	95	95
		実績値	95.2	95.5	91.9		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 居場所に出かけることで、地域とのつながりができ、また体操等により介護予防の効果が現れ、参加者の健康の低下を防ぐことができたことなどから、目標を達成できた。	(目標達成度)						(達成度) 96.7% 33点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	22,578	22,102	19,031	22,539
(事業費)	[円]	11,991	11,479	8,556	12,064
(職員人件費)	[円]	10,587	10,623	10,475	10,475

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

令和 2年度は、新型コロナウイルス感染症防止策を取ながらの活動となり、集いの場を確保する手法について課題が生じた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

新型コロナウイルス感染症防止策の情報提供を行い、対策を徹底するよう周知する。さらに65歳からのプラチナ世代元気応援事業でのスマホ教室を活用し、継続可能なものを目指す。また、長寿福祉課介護予防係の専門職員が活動に関わることで、充実を図る。

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者見守り事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者が地域で安心して暮らし続けられる環境を整備するため、定期的な高齢者の訪問や配食サービスによる安否確認や、24時間365日介護や日常生活の不安を相談できる専用ダイヤルの開設など、高齢者の見守り事業を推進する。また、認知症等を行う方不明高齢者等の早期発見につなげるため、位置情報探索システム(GPS)や高松市認知症等行方不明高齢者等保護ネットワークを活用し、電子メール配信システムの運用により迅速かつ広範囲への情報伝達を行うことで、認知症等が原因で徘徊する高齢者の早期発見・保護に取り組む。
-------	--

【見守り事業】

3年度 特別あんしん見守り事業、地域で支えあう見守り協定事業、介護相談専用ダイヤル事業を推進し、地域における見守り体制を強化する。
 【認知症等行方不明高齢者家族支援事業】
 GPSを普及し、電子メール配信等により行方不明高齢者の早期発見・保護に努める。

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)
--------	------	----------	---------	-------------------


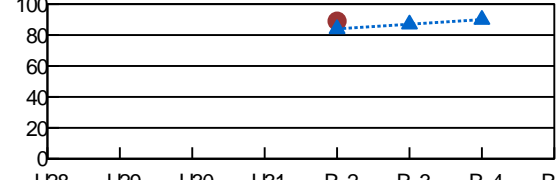

【事業の目的】

対象(何を)	65歳以上高齢者
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者の在宅における日常生活を支援するとともに、事故の未然防止や早期対応を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
見守り協定に基づく通報件数	件			23	26	26
配食見守り事業利用者数	人	790	903	961	1,046	1,003

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
見守り協定締結事業者数	事業者	目標値			84	87	90
		実績値			89		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 協定事業者数は事業者の理解もあり増加した。地域の事業所協力員が熱心に取り組んでおり、民生委員児童委員連盟とも連携し、見守り体制を充実させた。 	(目標達成度)						(達成度) 106.0% 35点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	84,632	72,138	70,561	71,627
(事業費)	[円]	74,045	61,515	60,086	61,152
(職員人件費)	[円]	10,587	10,623	10,475	10,475

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

特別あんしん見守り事業では、老人介護支援センター等の見守り訪問員により、効果的な安否確認や相談等ができています。あんしん通報サービス事業は、入所等により利用者が減少、配食見守り事業についても、利用者数は減少傾向にある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

複合的に事業に取り組むことで、見守り体制の充実に取り組む。

令和 3年度（ 2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	介護保険課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2326
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	介護相談員派遣等事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	一定の研修を受けた登録相談員を介護サービス事業所等に派遣して、利用者等の話を聞き、相談に応じるなどにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的な向上を図るもの。				
概要	3年度 相談員派遣 11人・28施設 連絡会議の開催(月1回)				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)		

【事業の目的】

対象(何を)	介護サービス相談員の派遣を希望する介護保険サービス事業所
意図(どのような状態にしたいか)	介護サービス利用者の日常的な不平、不満又は疑問に対応して、苦情に至る事態を未然に防止するとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的な向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
介護サービス相談員派遣延べ回数	回	735	712	0	649	540

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	介護サービス相談員が受けた相談件数	件	目標値	4,320	4,320	4,320	4,320	4,320
			実績値	4,985	5,092	0		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症の影響により、原則、介護サービス事業所等で面会が禁止となったので、訪問活動を中止した。 (目標達成度)						(達成度) 0.0%	0点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	10,814	10,243	7,671	10,120
(事業費)	[円]	3,252	2,655	189	2,638
(職員人件費)	[円]	7,562	7,588	7,482	7,482

【評価】

評価ランク (A~D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) 新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ず訪問活動を全面的に中止したため低評価の結果となったが、次年度においても、感染症の影響を注視しつつ、訪問活動の再開時期や実施方法を見極める必要がある。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入) 減少傾向である介護サービス相談員の人数を確保する必要があるほか、派遣施設の拡充を図るため、実地指導等の機会に合わせてサービス事業者に対し当事業の周知啓発を行う必要がある。			

令和 3年度(2年度決算分)高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域包括支援センター
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	839-2811
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	認知症ケア推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要
 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会の実現を目指すため、認知症の人や家族を支援する「認知症地域支援推進員」の配置、容態に応じた相談や利用でき「認知症初期集中支援チーム」の運営を行う。さらに、成年後見制度利用促進に向けて、相談対応や市民後見人の育成・活動支援といった役割を担う「中核機関」を新たに設置し、関係機関との地域連携ネットワークの構築を図る。

3年度概要
 認知症初期集中支援チーム運営
 認知症初期集中支援チーム検討委員会開催
 認知症地域支援推進員配置・研修
 認知症普及啓発
 認知症カフェ開催

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務有)
--------	------	----------	----	---------	-------------------


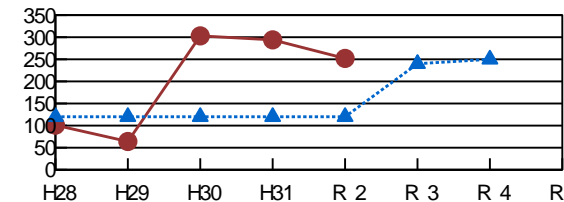

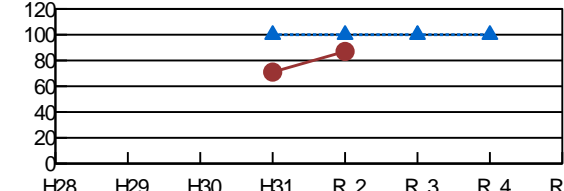
【事業の目的】

対象(何を)	高松市民
意図(どのような状態にしたいか)	認知症やその疑いのある人が、状態に応じて必要な医療や介護等のサービスが受けられるよう、医療・介護等の関係機関へつなぐことで、住み慣れた地域で生活を継続することができる。

【事業の活動】

活動指標名(具体的などのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
認知症地域支援推進員が受けた認知症に関する相談案件数	件	619	535	455	480	500
認知症初期集中チームによる訪問案件数	件	11	7	7	10	20

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
相談件数のうち、医療等のサービス支援につながった数	件	目標値	120	120	120	240	250
		実績値	303	294	252		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 認知症地域支援推進員が受けた相談については、既に医療・介護等につながっている方を含め、昨年度と同様に約半数が医療・介護等の連携が必要な相談であった。認知症地域支援推進員が昨年度と比較して3人異動に伴い減少したものの一人当たりの相談件数は増加している。	(目標達成度)						(達成度) 210.0%
							35点
認知症初期集中支援チームの支援が医療や介護保険サービス等につながった割合	%	目標値		100	100	100	100
		実績値		71	87		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 相談件数のうち、医療等のサービスに繋がった件数については目標を達成することができた。また、認知症初期集中支援チームによる訪問件数のうち医療や介護保険サービス等につながった割合は87%であり、目標を達成することはできなかったが、昨年度よりは、割合が上昇した。	(目標達成度)						(達成度) 87.0%
							30点

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
トータルコスト	[千円]	17,691	18,700	24,625	26,689
(事業費)	[千円]	6,348	7,318	13,402	15,466
(職員人件費)	[千円]	11,343	11,382	11,223	11,223

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

新型コロナウイルス感染症等の影響により高齢者の外出自粛などにより認知症の進行や、早期発見、早期治療が遅れることも懸念される。認知症に関する相談窓口などを関係者に周知するとともに、関係者と連携を密に連携していく必要がある。また、成年後見制度についても必要な人に情報が届くよう引き続き周知啓発を行っていく必要がある。併せて、本人やその家族が安心して住み慣れた地域で暮らすことのできる地域づくりが必要である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

認知症に関する施策や相談窓口や成年後見制度についても引き続き周知啓発を行っていく。認知症初期集中支援チーム員との連携を密に行っていくとともに、本人やその家族のニーズを把握しながら必要な支援につなぐことができるよう、認知症地域支援推進員との連携も強化していく。また、認知症サポーターが地域で本人やその家族を支援できるような地域づくりをめざす。

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域包括支援センター
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	839-2811
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	地域ケア会議推進事業		事業期間	令和 2年度～令和 4年度

【事業全体概要】

高齢者が介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせることのできる地域包括ケアシステムを実現するため、介護支援専門員からの相談体制を整えるとともに、地域ケア会議関係者のスキルアップを図るための研修会を開催するなど、「地域ケア会議」を実効性のあるものとして、定着・普及する。

3年度概要	地域ケア会議 年1回 地域ケア小会議 4地区 ・地域課題 ・個別課題 ケース検討 20回
-------	--

重点取組事業	市長マニフェスト 4-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務有)
--------	-------------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象(何を)	介護保険制度運営協議会委員、高齢者を支援する居宅介護支援事業所の介護支援専門員他関係者 高松市内の居宅介護支援事業所等の介護支援専門員
意図(どのような状態にしたいか)	高齢者の自立支援を促すために、居宅介護支援事業所等の介護支援専門員のスキルアップを図る。また、地域福祉ネットワーク会議等での地域支援ネットワーク構築を推進する。地域ケア小会議の中で顕在化した地域の課題を、地域ケア会議・地域福祉ネットワーク会議他へ報告し、施策化を推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
地域ケア小会議開催回数	回	319	274	233	150	230
居宅介護支援事業所等の介護支援専門員からの相談件数	件	1,266	642	721	600	600

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標	地域ケア小会議(地域課題)を開催している地区の割合	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	86.4	88.6	95.5		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 令和2年度地域ケア小会議:地域課題検討(地域福祉ネットワーク会議)42/44地区に広がった(前年度比3地区増)。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響に伴い、年度末に地域福祉ネットワーク会議が中止された。	(目標達成度)						(達成度) 95.5% 33点
								(達成度) 98.0% 34点

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
トータルコスト	[千円]	15,772	15,747	8,135	8,532
(事業費)	[千円]	648	571	653	1,050
(職員人件費)	[千円]	15,124	15,176	7,482	7,482

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

地域ケア会議1回、地域ケア小会議(プラン検討32回、ケース検討17回、地域福祉ネットワーク会議184回) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のために地域福祉ネットワーク会議は一部中止した影響あり。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

地域ケア会議では、地域ケア小会議で明確になった地域課題を情報発信し政策化に繋げ、地域包括ケアシステム構築の推進を継続する。また、地域ケア小会議(個別課題)では多職種参加型自立支援に向けたケアプラン検討等、3段階のレベル別研修を開催し、自立支援に向けた介護支援専門員のスキルアップを継続して行う。

令和 3年度 (2年度決算) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	瓦町健康ステーション事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市瓦町健康ステーションにおいて、市民の「健康づくり」や「生きがいつくり」の事業を推進し、福祉の増進を図る。			
3年度概要	瓦町 FLAG 8階 IKODE 瓦町に設置している高松市瓦町健康ステーションの運営を行う。			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務	


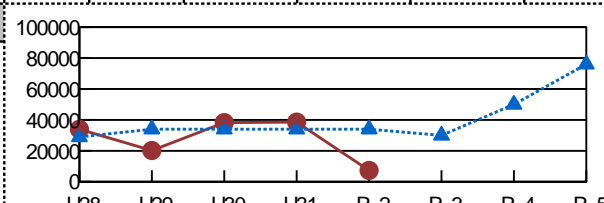
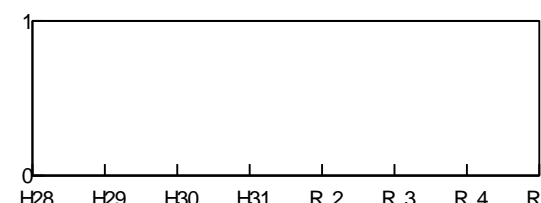
【事業の目的】

対象(何を)	高松市に居住する人
意図(どのような状態にしたいか)	市民の健康づくりの場として、誰もが利用しやすい環境を整える。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
瓦町健康ステーションの開館日数	日	356	359	298	359	359

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
瓦町健康ステーションの年間来場者数	人	目標値	34,000	34,000	34,000	30,000	50,000
		実績値	38,252	38,578	7,349		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の休館や一部閉館、さらにフィットネスルームの利用時間の短縮や利用人数を制限したため、来場者数が大幅に減少し、目標値を達成することができなかった。 		(目標達成度)					(達成度) 21.6% 点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	35,485	35,105	34,826	35,611
(事業費)	[円]	27,923	27,517	27,344	28,129
(職員人件費)	[円]	7,562	7,588	7,482	7,482

【評価】

評価ランク (A~D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の開館及び利用の時間が短縮し、各種講座の開催時期が遅延した。年度後半からは、アルコール消毒液やビニールの仕切りを設置したり、利用者同士の間隔を開けたりして、感染防止対策を取りながら事業を実施した。引き続き、十分な感染防止対策を取りながら、利用者の増加を図る。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
今後も、公共交通機関の結節点の機能を生かしながら、健康づくりのための講座などを充実させていくことで、利用者の増加を図る。			